

# つばさ新聞

平成 24 年 3 月 25 日 発行  
第 6 号



3月6日、広島地方気象台は中国地方に「春一番」がふいたと発表しました。これは昨年より13日も早いそうです。暖かい春はすぐそこまで訪れているようですが、三寒四温ともいわれるこの時期、体調管理には十分にお気を付け下さい。

先日、ある方の訪問診療での出来事が院内で話題となりました。数日前に86歳のお誕生日を迎えられた患者様へ当院のドクターが「お誕生日の記念に写真を撮りましょうね！」と一言。すると、患者様の表情が一変されました。「おかしくないかしら??」と髪型や服装を気にされていた様子でしたが、溢れんばかりの笑顔でとてもうれしそうなご様子でした。その時の患者さんの表情をみていると、同席させて頂いているこちらの方が嬉しくなっていました。

訪問時には、患者さんへの診療だけでなく、笑顔の源も提供させて頂きたい…そんな思いで日々の診療に取り組んでおります。今後ともつばさクリニックをどうぞよろしくお願いいたします。

つばさクリニック 編集部員



## ナースのつぶやき...



ようやく春の訪れを感じられる季節になってきました。皆様お体の調子はいかがでしょう。

個人的なことですが私は“気”について勉強しています。“気”について説明することは難しいですが、血液と同じく気は流れていることが大切です。血液は流れているから栄養を運び、老廃物を体の外へ出してくれますが、流れが悪くなり、よどみかたまりを作ってしまうと病気になるのと同じです。悪い“気”もためてしまうと病気を生みます。簡単に言うとストレスを感じた時にそのことにこだわり固執してしまうとそこで“気”がたまり、それはどんどん増幅し固まってしまう。皆様も日々の生活の中で、色々なストレスを抱えておられると思います。たまには、「なんとかなる」「まあいいか」と思ってみてはいかがでしょう？それが、たまった“気”を流すということになり、少しでもその気持ちが楽になるかもしれません。

皆様もどうか“気”は流すということを心がけて頂けるといいかなと思います。



看護師 奥田



# スタッフ紹介



山本 昌幸 (やまもと まさゆき)

3月から常勤として勤務することになりました医師の山本です。元々は耳鼻科の専門だったのですが、数年前より科にとらわれず総合的に診療を行っております。「真剣さ」をモットーに患者様の在宅療養を支えています。よろしくお願いいたします。



村田 理恵 (むらた りえ)

2月に看護師として入職した村田です。以前はケアマネージャーとして在宅療養に関わっていました。今後は今までの経験を生かしながら、患者様に寄り添った看護を行いたいと思います。よろしくお願いいたします。



岡田の

## 南極物語



### 第2話:オーロラ

オーロラは太陽からやってくるプラズマ粒子(電子やイオン)が地球磁気圏に入り込んできて、電離層の大気とぶつかって発光する現象です。緑や赤色に光るなど、さまざまな色の光が発せられた結果、美しい色彩を地上で見ることができます。北極と南極でほぼ対称的に発生しますが、極点ではなく緯度65度から80度にかけて地球の磁極を取り巻くドーナツ状の領域に発生します。

僕が越冬していた南極昭和基地はこの領域にあるため、数多くのオーロラを見ることができました。人間の創造を超える現象を「神秘」と称しますが、オーロラは地球上で目にすることができる最も美しく神秘的な景色として僕の目にしっかり焼き付きました。



《オーロラと一緒に》



《ダイナミックに動くオーロラ》

医療法人つばさ

つばさクリニック

診療日 月曜日～金曜日  
休診日 土・日曜日 祝祭日  
訪問時間 午前9時～午後5時



住所 倉敷市大島388-2  
電話 086-424-0283